



各大学の取り組み

2 . 東北大学



東北大学

井上プラン2007(東北大学アクションプラン)

世界トップレベルの研究教育拠点大学の確立（取組）

人材育成

国際高等研究教育機構・独立研究科（医工学（日本初））

～ 異分野融合領域での若手研究者養成

高度イノベーション博士人財育成センター

～ ポスドク・博士後期課程学生へのキャリア支援
（産業界で即戦力となる高度博士人財を育成）

「国際化拠点整備事業（グローバル30）」の採択

～ 英語のみで修了できる16コース開講

（留学生1300人、外国人教員130人

10年後：留学生3000人、外国人教員300人）

研究拠点形成

原子分子材料科学高等研究機構（WPI）

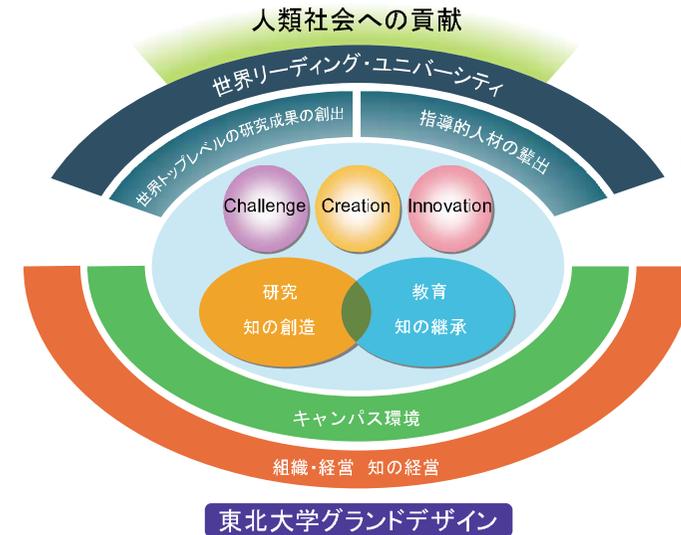
～ 世界トップレベルの材料科学研究を指向

工学研究科 情報知能システム（IIS）研究センター

～ 電気・通信・機械分野関連の80の研究室による電気自動車研究プロジェクト

東北先端医療研究開発連携拠点（TAMRIC）

～ 東北大学に集積する医療・創薬関連資源による企業育成や地域産業経済の活性化



東北大学グランドデザイン

研究第一主義

基礎研究・人材育成

実学尊重の理念

産業界への多大なる貢献



東北大学

産業界への貢献(具体例)

国際的視野を備えた指導的人材の輩出の取組

博士の就職難に対応し、高度イノベーション博士人財育成センターを創設
高度技術経営塾生（博士後期課程）の高い就職率を達成

世界トップレベルの研究成果の創出による社会貢献

(株)産業革新機構による2事業が採択（全4支援事業中）

アルプス・グリーンデバイス(株)の発足(2010/05/17)

(株)ジェニュージョンによる次世代型フラッシュメモリの開発(2010/05/10)

産業界への実用化に向けた実績等

高密度磁気記録技術に貢献（市場規模6兆円）

ハードディスク装置(HDD)記録方式である垂直磁気記録方式の開発

光伝送技術の高度化、次世代光通信の構築に貢献

超短光パルスレーザ及びフォトニック結晶ファイバの開発

電子産業の新市場創成に貢献（従来の1/10以下の投資で製造可能）

エネルギーを使わずに記憶を保持する不揮発性メモリ(スピントロニクス素子)と半導体集積回路との融合

集積回路の高付加価値化・産業活性化に貢献

微細CMOS集積回路と異種要素技術との融合(ヘテロ集積化)

産学官連携功労賞を制度発足以来「毎年連続受賞」

産学官連携の推進に多大な貢献をした優れた成功事例を表彰

これまでの受賞 12件(H15~)

内閣総理大臣賞(3件)、科学技術政策担当大臣賞(1件)、文部科学大臣賞(6件)、経済産業大臣賞(1件)、

国土交通大臣賞(1件)



東北大学

早急に取り組むべき政策(特に投資が必要)

基礎研究・基盤整備が大切
それを支える運営費交付金・
科学研究費補助金の拡充

産業界における
博士後期課程学生・
ポスドクの雇用促進

総人件費改革に伴う
人件費削減方針を撤廃

外国人研究者・
留学生の生活環境整備

大学の研究・人材育成基盤の抜本的強化が必要不可欠